

Corporate Social Responsibility CSR報告書2021

報告対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日



 Paralym Art
障がい者アートを応援しています
「ハイトッチ」
作者：AngelRabbits（親子合作）

Contents

P2 目次／代表者挨拶

P4 SDGs(持続可能な開発目標)

P5 PROFILE／本社

事業所一覧

P6 三芳資源化センター〈活動と主なるCSR〉

P8 彩京資源化センター〈活動と主なるCSR〉

P9 厚木紙資源センター〈活動と主なるCSR〉

P10 草加リサイクルセンター

P10 所沢事業所

P10 蓮田事業所

P10 川崎事業所

P11 環境方針マネジメントシステム／
情報セキュリティマネジメントシステム

P12 認証・許認可／
各事業所の環境負荷項目・環境保全

P13 社会性報告／古紙リサイクルアドバイザー制度／
編集後記

P14 当社の事業に関わる事業者様、法人様、
関係者様から寄せられた言葉

P15 グリーンサポート運動

表紙の絵

作品名: **ハイタッチ**

作家名: **AngelRabbits (親子合作)**



『AngelRabbits(親子合作)』プロフィール
出身地: 東京都

本人は、重度の知的障がいで一歳児程度の知能に留まる男性です。いつもにこにこして、とても楽しそうにしています。

代理人は父です。娘が可愛がっていた兎が天に召されたとき、ひどく嘆き悲しむ娘のために天使うさぎたちの絵本を80作以上描き続けています。息子の介護に常時在宅を要するようになったため、30年近い金融関係の仕事を辞め、個人会社でいろいろな企業や団体のお手伝いをしています。

息子が何らかの形で継続的に社会参加すること、そして何よりも少しでも息子の楽しみを増やすことを目的に、息子が気まぐれで描いた線に彩色しはじめました。

パラリンアートとは…

障がい者の社会参加と経済的自立を、彼らの芸術表現を通じて一般社団法人障がい者自立推進機構が推進する活動です。自らの才能を見つけ、活かしたい全ての人へのきっかけを与える活動を行っています。

 **Paralym Art**
障がい者アートを応援しています



三芳資源化センターにて撮影

ごあいさつ

弊社発行のCSR報告書も版を重ね2021年版もちまして12版を迎えました。日頃より御最厚を賜りますお取引先各社様、関係諸氏、団体のご支援の賜物と、ここに「CSR報告書2021」を皆様にお届けできますこと謹んで感謝申し上げます。

2019年に中国で確認された新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的蔓延も2年近くが経とうとしている現在も終息の兆しは見えてきません。日本国内も新型コロナウイルス蔓延の度合いに連れる形で経済活動も委縮する懸念すべき状況にあります。この一年で「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発令を繰り返しながら、古紙の発生形態は大きく変化してまいりました。加えて一昨年から古紙を含む再生資源の輸入を停止した中国が最大の古紙消費国から撤退したことによって国

際市場に地殻変動を引き起こし、地の利のある最大市場を失ったことで国内古紙は廉価なものとなりました。この度お届けいたします「CSR報告書2021」における報告対象期間は需給が価格を構成する再生資源市場のメカニズムとの乖離が顕在化したなかで産業構造の静脈を担う当業界にとって大変厳しい経営環境に置かれることになり、弊社においても試練の年となりました。世界経済に甚大な影響を及ぼしたコロナ禍がアフターコロナ/ウィズコロナと今後どのような形で終息へ向かうかは不透明ですが、循環型社会構築の一翼を担う者としてリサイクル/リデュース/リユースと変化するニーズに迅速に対応する仕組みの運用に努めてまいります。そしてお取引先各社様、関係諸氏、団体の多くの方々にご支援をいただき、弊社が

2019年に取り組みを宣言した「SDGs(持続可能な開発目標)」を一層深化させるべく取り組んでまいります。変わらなければならないこと、変えてはならないことをしっかりと見極めながら、創業以来の社是「誠實信頼」と「おもてなし」の精神を忘れず、SDGsの誓い「leave no one behind(誰一人取り残さない)」とともに「社会と環境に役立つ会社づくり」を目指してまいります。

皆様のご指導、ご鞭撻を引き続き賜りますようお願い申し上げ、「CSR報告書2021」発行のご挨拶とさせていただきます。

代表取締役社長
富澤 進一

報告対象範囲

本社、彩京資源化センター、三芳資源化センター、厚木紙資源センター、草加リサイクルセンター、蓮田事業所、所沢事業所、川崎事業所
※蓮田、所沢事業所については、環境負荷項目の一部(電力・上下水道)は除外しています。

報告対象期間

2021年度(2020年4月1日～2021年3月31日)
※活動や取り組み内容は一部直近のものを含みます

発行日

2021年10月

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」

お問合せ先

本社 総務経理部 寛田 昭人
TEL:048-227-3098 FAX:048-226-2044 a.toida@tomisawa.co.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs (エスディーゼーズ) : Sustainable Development Goals)

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

株式会社富澤の中核事業は『紙のリサイクル』です。回収した古紙を徹底して分別・加工することで100%再資源化し『クローズドリサイクル』に寄与しています。また、当社の事業は国連の定めるSDGs(持続可能な開発目標)との親和性が非常に高く、国際労働機関(ILO)が目標として掲げるディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)も実現しています。

「当社は、「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて次のとおり取り組むことを意思表示(宣言)します。」

Governance (経済成長)

「資源の再生と廃棄物の大幅な減量を可能とし、作業の自動化・効率化を図り、「古紙は製品」という方針を基に環境保全に適合させるとともに、環境課題の解決に貢献します。」



Social (社会的包摂)

「健康的で女性が働きやすい職場づくり及び働きがいのある労働環境の創出により、性差、年齢、障がいその他の状況に関わりなく能力強化を促進し、ディーセント・ワークを実現します。」



Environment (環境保護)

「持続可能なエネルギーを確保し、環境保全に寄与する。」太陽光発電による電力供給、全面的なLED光源に移行します。



福祉施設への作業委託により、障害者の自立をサポート

彩京資源化センターでは『NPO法人グリーンサポート運動推進協議会』に協賛しています。学校や事務所などから排出される『使い終わった紙』を障がい者の皆さんが収集し当社が受け入れ、障がい者の皆さんの工賃となります。また三芳資源化センターでは埼玉県社会福祉事業団との取組みとして、雑誌・書籍を素材別に選別する作業を委託しています。実際に障がいのある方々に来ていただき作業をしていただいています。これらの事業は地域社会に根ざした協業であるとともに、障がい者の皆さんの自立を支援しています。



PROFILE

会社概要

創業 1925年10月1日
資本金 9,000万円
役員 代表取締役社長 富澤 進一
常務取締役 伊福 洋
常務取締役 太田 吉計
常務取締役 寛田 昭人
取締役 森 宝生
監査役 岩崎 重孝
監査役 富澤 希代美

従業員数 90名(2021年3月現在)

主要取扱品 [産業古紙関連]
◇印刷・製本会社からの排出物
[出版物関連]
◇雑誌残本、書籍残本、付録や販促品等の難処理古紙他
[回収古紙関連]
◇物流倉庫や店舗等より排出される段ボール類
◇一般企業より排出されるオフィス古紙や書類
◇機密書類
◇行政回収やその他集団回収の紙類

販売先 日本製紙株式会社、新東海製紙株式会社、特種東海エコロジー株式会社、王子マテリア株式会社、春日製紙工業株式会社、太平洋紙業株式会社、丸王製紙株式会社、いわき大王製紙株式会社、新生紙パルプ商事株式会社、その他製紙メーカーなど数十社

仕入先 出版社、印刷会社、製本会社、倉庫業者など数百社

富澤の歩み

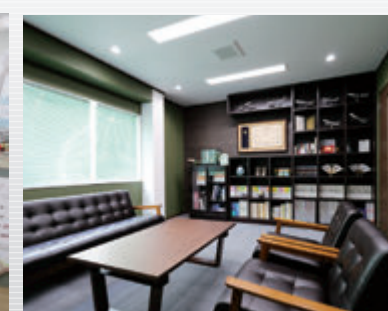
1925年(大正14年)	台東区根岸において富澤西蔵が出版物の返本加工業として富澤西蔵商店創業
1952年(昭和27年)	荒川区東日暮里において有限会社富澤商店を資本金80万円で設立 代表取締役は富澤西蔵が就任
1960年(昭和35年)	代表取締役は富澤一郎が就任 板橋営業所を開設
1962年(昭和37年)	有限会社富澤商店より株式会社富澤商店に組織変更
1968年(昭和43年)	草加営業所を開設
1973年(昭和48年)	厚木紙資源センターを開設
1974年(昭和49年)	株式会社富澤に組織変更
1975年(昭和50年)	創業50周年
1988年(昭和63年)	川口紙資源センターを開設
1992年(平成4年)	東京都産業廃棄物処理業(収集運搬)の許可取得
1993年(平成5年)	埼玉県産業廃棄物処理業(収集運搬・積替保管)の許可取得
1994年(平成6年)	日販事業所を開設
1995年(平成7年)	東京都廃棄物再生事業者登録
1999年(平成11年)	川口紙資源センターをリプレイスし、彩京資源化センターとしてリニューアル 彩京資源化センターに選別ライン、破砕機等の加工設備を導入
2000年(平成12年)	神奈川県一般廃棄物処理施設(圧縮施設)の許可取得
2001年(平成13年)	草加営業所を草加リサイクルセンターにリニューアル 埼玉県廃棄物再生事業者登録
2002年(平成14年)	代表取締役社長に瀧本義継が就任 ISO14001認証取得(本社・彩京資源化センター)
2003年(平成15年)	日販事業所をリプレイスし、蓮田事業所としてリニューアル
2004年(平成16年)	ISO14001認証取得(厚木・板橋)
2005年(平成17年)	所沢事業所を開設
2006年(平成18年)	ISO27001認証取得(本社・彩京・厚木・蓮田・草加・板橋)
2007年(平成19年)	古紙商品化適格事業所に認定(彩京・厚木・板橋)
2008年(平成20年)	板橋営業所及び草加リサイクルセンターの古紙部門をリプレイスし、 三芳資源化センターを開設 埼玉県「彩の国工場」に三芳資源化センターが指定
2010年(平成22年)	三芳資源化センターが古紙商品化適格事業所に認定
2012年(平成24年)	代表取締役社長に富澤進一が就任
2013年(平成25年)	川崎事業所を開設
2014年(平成26年)	神奈川県廃棄物再生事業者登録
2015年(平成27年)	神奈川県産業廃棄物処理業(収集運搬)の許可取得
2016年(平成28年)	神奈川県産業廃棄物処理業(積替保管)の許可取得
2019年(令和1年)	三芳資源化センターをリプレイスし、新三芳資源化センターとしてリニューアル
2021年(令和3年)	本社オフィスを増床しリニューアル

本社

当社の中核拠点として下記の業務を行っています。



オフィス全景



Office Data

●営業活動及び事業所の統括
●代納管理業務
●人事・総務・経理等の管理
住所:〒332-0011
埼玉県川口市元郷3-21-31-2F
TEL:048-227-3098
FAX:048-226-2044

三芳資源化センター

古紙選別業務の高効率化を実現



»Plant Data

- 5,000t/月の処理能力
- 産業古紙及び出版関連古紙・難処理古紙を取扱う
- 多種多様な製品に対応可能な静音・省電力マシンを開発
- 面積:4,000㎡
- 〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井834-1
- TEL.049-274-7095 FAX.049-274-7125

- 設 備
- 120馬力省エネペーラーマシン.....1基(120t/日)
 - 250馬力ペーラーマシン.....1基(120t/日)
 - 残本選別加工ライン(1tリフター).....4台
 - 背糊カッター.....3台
 - 巻取り断裁機.....1台
 - 輸出入プラットフォーム.....1台
- 保有車両
- 15tウィング車.....2台
 - 4tウィング車.....2台
 - 4tバックカー.....2台

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
廃棄物再生事業者	登録
彩の国工場	指定
LED照明設置	LED照明を設置し、省電力に努めています
バッテリーフォークリフト	作業用車両全て(6台所有)は、脱化石燃料を目的にバッテリー車を使用しています
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています

福祉施設への作業委託	福祉施設に委託し、雑誌の付録、CD・DVD等を分別し、紙・プラスチックを再資源化しています(福祉施設の方にお越しいただき作業します。さまざまな技量を身につけ社会復帰を手助けいたします)
危険物削減	危険物の削減のため、潤滑油を高引火点潤滑油(指定可燃物)に変更しました
地域貢献活動	毎営業日事業所周辺の清掃を行い、美化活動に努めています 三芳町の公立学校から古紙を回収し、トイレトーパーと交換しています

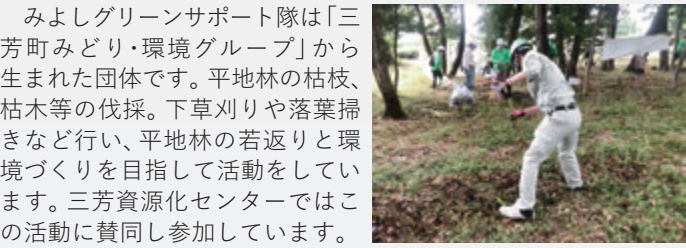
Working process



福祉施設の方による作業風景



みよしグリーンサポート隊



彩京資源化センター

首都圏の拠点として機能しています。



01: 古紙搬入

Working process

02: 選別／圧縮梱包

オフィス古紙処理

機密書類処理
個人データや社外秘などの情報漏洩が一切ないよう、段ボールのまま破砕機に投入、小さい紙片に裁断します。

04: 出荷

03: 保管



»Plant Data

- 5,000t/月の処理能力
- 回収古紙及び機密書類処理等、企業のニーズに対応
- 面積:5,000㎡
- 〒332-0011 埼玉県川口市元郷3-21-31
- TEL.048-225-4301 FAX.048-225-4304

- | | |
|-------|----------------------------|
| ■設 備 | ●250馬力ペーラーマシン ……2基(200t/日) |
| | ●破砕機(10~25t/日) |
| | ●背割断裁機 |
| | ●選別ライン(4t/日) |
| | ●巻取り断裁機 |
| ■保有車両 | ●8tウィング車 ……1台 |
| | ●15tウィング車 ……1台 |
| | ●4tバッカー車 ……5台 |
| | ●4t車 ……3台 |
| | ●10tウィング車 ……2台 |
| | ●2t車 ……2台 |
| | ●3tウィング車 ……1台 |

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
廃棄物再生事業者	登録
埼玉県計量証明事業	登録
川口市エコリサイクル推進事業所	登録
太陽光発電	太陽光発電パネルを設置し、省電力に努めています
ハイブリッド車	3台所有
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています

機密文書	企業から機密文書の処分を受託し、再資源化しています
	川口市の公立学校から古紙を回収し、トイレットペーパーと交換しています
	川口市内障害者施設運営団体連絡会を通じて雑誌・付録を資源化しています
地域貢献活動	川口市内の町内会の資源回収をサポートしています
	一般・産業廃棄物者に対してゼロエミッションを推奨しています

厚木紙資源センター

厚木を中心に綾瀬、座間、海老名、相模原をテリトリーとしています。



Working process

01: 古紙受入



03: 圧縮梱包

02: 選別



04: 保管

05: 出荷



行政回収・事業系古紙回収で受入れた様々な古紙を紙質別に仕分け、回収古紙をほぼ100%製紙原料化します。

»Plant Data

- 2,500t/月の処理能力
- 主に新聞・雑誌・段ボールを回収
- 厚木市行政回収拠点
- 面積:1,600㎡
- 〒243-0806 神奈川県厚木市下依知1-8-1
- TEL.046-245-2985 FAX.046-245-3825

- | | |
|-------|----------------------------|
| ■設 備 | ●100馬力ペーラーマシン ……1基(100t/日) |
| | ●紐取機 ……1台 |
| | ●破袋機 ……1台 |
| | ●選別ライン ……1台 |
| ■保有車両 | ●4tバッカー車 ……5台 |
| | ●4tウィング車 ……1台 |
| | ●3tバッカー車 ……4台 |
| | ●2t車 ……2台 |

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
一般廃棄物処理施設(圧縮施設)	許可
廃棄物再生事業者	登録
産業廃棄物収集運搬許可(積替、保管含む)	許可
神奈川県計量証明事業	登録
省電力	日本テクノ株式会社 SMARTMETER を使用し、デマンド管理を行い省電力に努めています
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています

難処理系一般廃棄物	厚木市から受託し、従来古紙になり得なかった雑紙(ミックスペーパー)廃棄物を再資源化して廃棄物の減量に努めています
機密文書	企業から機密文書の処分を受託し、再資源化しています
地域貢献活動	神奈川県立高等学校の古紙を回収し、トイレットペーパーと交換しています。厚木市行政回収の荷受拠点になっています

草加リサイクルセンター(RC)



- 難処理古紙及び産業廃棄物の資源化
- 埼玉県 東京都 産業廃棄物収集運搬(積替保管含む)許可
〒340-0833 埼玉県八潮市西袋565-1
TEL.048-928-1048 FAX.048-928-1048



蓮田事業所



- 主に付録・難処理出版物の資源化
- ISO27001認証取得
〒349-0131 埼玉県蓮田市根金1464-1 出版共同流通株式会社
蓮田センター内 TEL.048-766-7211 FAX.048-766-7210



所沢事業所



- 主に段ボール・書籍残本の処理
〒359-0011 埼玉県所沢市南永井619-15 出版共同流通株式会社
所沢センター内 TEL.04-2946-5580 FAX.04-2946-5580



川崎事業所



- 主に各店舗から回収された段ボールの処理
〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島23-4



ISO 14001 環境方針 マネジメントシステム

▶ I 基本理念

当社は地球環境の保全に努めることを基本とし、温暖化の防止、廃棄物の削減等、次世代の子供達の地球環境が、今よりも少しでも良くなる様に願い、環境破壊を少しでも低減できることに継続的改善を進める。

▶ II 基本方針

- | | |
|---|--|
| 1 | 情報セキュリティとは、情報の機密性・完全性・可用性を維持することと定義する。
当社の管理下にある、すべての業務活動に関わる情報を対象とする。
(1) 古紙回収及び商品化の効率向上による古紙リサイクルに伴う環境負荷の削減 |
| 2 | (2) 廃棄物の資源化によるゼロエミッションの推進
(3) 二酸化炭素排出量削減のための省エネルギーの推進
(4) 排出及び供給先ユーザーのニーズに対応しつつ、古紙回収の拡大に努め、関連行政・地域住民との連携を図り、地域社会に貢献する。 |
| 3 | 環境教育を通じて、全社員への環境方針を理解させ、環境負荷改善の実績を周知することにより、環境意識の向上を図る。 |
| 4 | 当社の環境方針は、一般関係者が入手することを可能とし、環境管理の実施状況を必要に応じて公開する。 |



ISO取得
ISO14001(環境)認証取得

ISO 27001 情報セキュリティ マネジメントシステム

▶ 基本理念

お客様との信頼関係の上に成り立っています。当社がお客様の信頼を保持し、より良いサービスを提供していくためには、情報資産に対して適切な安全対策を実施し、紛失、盗難不正使用から保護しなくてはなりません。
ここに「情報セキュリティ基本方針」を定め、当社の管理下にある情報資産の適切な保護対策を実施するための指針とします。



ISO取得
ISO27001(情報セキュリティ)認証取得

1	情報セキュリティの定義	情報セキュリティとは、情報の機密性・完全性・可用性を維持することと定義する。
2	適用範囲	当社の管理下にある、すべての業務活動に関わる情報を対象とする。
3	管理者の任命と義務	会社は情報セキュリティ委員会を設置するものとする。情報セキュリティ委員会は、全面的にISMSの推進を図るものとする。情報セキュリティ委員会は、各部門から責任者を任命する。責任者は各部門におけるISMSの推進に努めること。
4	リスクの特定と情報セキュリティ目標	情報セキュリティ委員会は、「情報セキュリティマネジメントマニュアル」で定めた方法でリスクを特定する。特定したリスクに対して最適な情報セキュリティ管理策を講じるものとする。すべてのリスクを定められた受容可能なリスク水準以下に軽減することを情報セキュリティ目標とする。
5	従業員の義務	アルバイト社員を含む全従業員は、「情報セキュリティ基本方針」、「情報セキュリティ規定」および情報セキュリティの手順に準じて行動すること。
6	個人情報保護	会社は、個人情報保護法に準じて個人情報を管理するものとする。
7	機密情報管理	会社は、不正競争防止法に準じて顧客および当社の秘密情報を管理するものとする。
8	著作権保護	会社は、著作権法に準じて著作物を管理するものとする。
9	秘密保持契約	会社は、顧客との秘密保持契約事項に準じて情報を管理するものとする。
10	教育	情報セキュリティに関する啓蒙・教育活動は、経営層の支持のもと、情報セキュリティ委員会で推進を図るものとする。

認証・許認可

▶ 認 証

環境マネジメントシステム (ISO14001)	2002年4月26日認証取得 2020年度の審査において是正処置を必要とする重大な不適合はありませんでした。
認証機関	一般財団法人日本品質保証機構(JQA)
情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001)	2006年9月15日認証取得 2020年度の審査において是正処置を必要とする重大な不適合はありませんでした。
認証機関	一般財団法人日本品質保証機構(JQA)
古紙商品化適格事業所認定	厚木紙資源センター、彩京資源化センター、三芳資源化センターで認定
認定機関	全国製紙原料商工組合連合会

▶ 環境報告

株式会社富澤はCD・DVD・玩具などに使用されている紙又は行政回収された様々なミックスペーパーなどを選別し、古紙化しています。これ等は従来古紙になり得なかったもので、産業廃棄物若しくは一般廃棄物として焼却又は埋め立て処分されてきました。これらを福祉施設や弊社の資源化ラインを介して、資源の再生と廃棄物の減量を図ることを可能にしております。「古紙は製品」という弊社の方針が環境保全に整合してる事例です。

環境管理についてはISO14001を基に、又「2007年版 環境報告ガイドライン」を参考に弊社の環境への負荷を特定、測定し、継続的な改善を図っています。以下の頁などをご参照下さい。

▶ 環境保全のための施策

株式会社富澤は環境保全の施策として太陽光発電装置を彩京資源化センターに設置しています。発電量はP13をご参照下さい。



各事業所の環境負荷項目・環境保全

▶ 各事業所の環境負荷項目

事業所名		2020年度使用数量				
		電気(kwh)	都市ガス(m ³)	LPG(kg)	軽油(L)	ガソリン(L)
本社(本社・彩京資源化センター)		297,578	0	20,534	39,730	18,211
三芳資源化センター		211,710	0	1,762	15,798	121
厚木紙資源センター		123,675	0	0	108,081	4,658
蓮田事業所		6,601	0	1,860	0	0
所沢事業所			0	1,012	0	0
川崎事業所		116,470	0	0	0	0
合計 ※蓮田事業所、所沢事業所は出版共同流通株式会社様の施設内にあり、一部のデータは計測出来ません。		756,034		25,168	163,609	22,990
二酸化炭素(CO ²) 排出数量	換算係数	0.468 (1000kwh)	2.23 (1000m ³)	3.00 (1t)	2.58 (1kl)	2.32 (1kl)
	排出数量(t)	398.1	0	87.9	422.1	53.3
	全事業所合計(t)		2020年 904		2 0 20年 1033.5	
原油換算数量	換算係数	0.25722 (1000kwh)	1.16 (1000m ³)	1.31064 (1t)	0.97266 (1kl)	0.89268 (1kl)
	排出数量(t)	194.4	0	38.4	159.1	20.5
	全事業所合計(t)		2020年 406.9		2 0 20年 451.5	
全事業所の環境保全		2020年度実績				
		エコカー		太陽光発電		
		ハイブリッド乗用車4台 バッテリーフォーク8台		3,773kwh		

社会性報告

▶ 福祉施設への作業委託

株式会社富澤は埼玉県、東京都内の福祉施設と提携し、雑誌の付録などを素材別に選別し資源化を委託しています。学校、企業、各種団体等の紙リサイクル出張講習なども無料で行っています。

▶ 社会貢献活動

社会福祉施設への作業委託数量																順不同
1	株式会社いきいき	このまんま	17	社会福祉法人	友垣の里											
2	社会福祉法人	入間東部福祉会	むさしの作業所	18	特定非営利活動法人	ともくん家	もんきいぼっど									
3	社会福祉法人	入間東部福祉会	三芳太陽の家	19	社会福祉法人	ひふみ会	光福									
4	社会福祉法人	入間東部福祉会	あおい作業所	20	社会福祉法人	ひらく会	みんと									
5	社会福祉法人	恩賜財団済生会支部	埼玉県済生会埼玉県済生会ワークステーション西川口	21	特定非営利活動法人	フレズネットワーク										
6	社会福祉法人	恩賜財団済生会支部	埼玉県済生会埼玉県済生会ワークステーションみのり	22	特定非営利活動法人	ほっとすてーしょん										
7	社会福祉法人	恩賜財団済生会支部	埼玉県済生会埼玉県済生会ワークステーションのぞみ	23	社会福祉法人	邑元会	しらびき									
8	特定非営利活動法人	くれおん	あみくる	24	株式会社リズム											
9	社会福祉法人	ごきげんらいぶ	らいぶ	25	特定非営利活動法人	ワーカーズコープ	たいむ									
10	埼玉県立	浦和特別支援学校		26	TETETARITO株式会社	ててたりと										
11	埼玉県立	川口特別支援学校		27	社会福祉法人	友遊会	詩膳II									
12	埼玉県立	草加かがやき特別支援学校		28	社会福祉法人	鳩ヶ谷ほっとすてーしょん										
13	川口市社会福祉事業団	生活介護きじと・夢工房		29	社会福祉法人	さくら草	デイセンターかりん									
14	社会福祉法人	そよかぜ	福祉作業所ひばり園	30	株式会社まはろ	まはろ和光南										
15	特定非営利活動法人	タンボボ福祉村	one da full Days													
16	特定非営利活動法人	とさき														
合計30施設 706t																

▶ 労働安全訓練

毎年4月10日に実施しています。

▶ 防火防災訓練

毎年4月10日に実施しています。

▶ 美化活動

全事業所において毎営業日に事業所周辺の清掃を実施しています。

▶ CSR活動を担保するための社内運動

弊社の行うCSR活動を担保するために次のような活動を行っています。

1月	「挨拶励行月間」実施
3月・11月	「火災予防月間(春秋)」実施
4月・10月	「作業安全月間(春秋)」実施
4月～5月	「整理整頓美化運動」実施
6月	「機械・車両メンテナンス月間」実施
7月・8月	「夏の健康管理月間」実施
10月・11月	「作業改善提案運動」実施
隔月実施	安全防災委員会による安全防災会議を実施

古紙リサイクルアドバイザー制度

「古紙リサイクルアドバイザー」認定制度は「古紙商品化適格事業所」の運営の円滑化のため、古紙リサイクルを業とする事業者、従業員の社会的地位の向上及び地域の古紙リサイクルの促進並びに円滑化を図ることを目的としています。

認定資格取得条件は全原連の実施する認定試験に合格した者で、2021年3月末現在、当社では40名が認定取得しています。また、「古紙商品化適格事業所」には当該資格を持つ「品質管理責任者」がいることが義務付けられてます。

▶ 古紙リサイクルアドバイザーの職務は

1: 「古紙商品化適格事業所」の「品質管理責任者」業務

2: 地域の古紙リサイクル啓蒙活動への参加(出前講座の実施など)

3: 行政及び地域団体あるいは古紙排出事業者への品質及び排出指導

4: 製紙会社及びリサイクル関連業界の行う古紙品質勉強会への参加等を行う。

編集後記

昨年初頭から世界中を震撼させている新型コロナウイルスの感染拡大は収まる気配がありません。

そんな中、東京オリンピック・パラリンピックが無観客にて開催されました。日本で行われたオリンピック・パラリンピックであったこともあり、前回を上回るメダルを獲得したことがこの停滞した国民の気持ちを高揚させてくれたことが良かったと思います。

また今年も静岡県熱海市において、梅雨前線に伴う豪雨による土砂崩れが発生し甚大な被害をもたらしました。

今年で12版目となる「CSR 報告書2021」を発行することとなりました。ご協力して頂いた方々に厚く感謝を申し上げると共に、社会環境活動(SDGs)に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます

当社の事業に関わる事業者様、法人様、関係者様から寄せられた言葉

株式会社大和書房

代表取締役社長
佐藤 靖

環境問題への意識を高め、循環型社会の形成に日々取り組んでいければと考えています。

出版社である弊社では、毎年膨大な量の紙を使用し何十万冊という書籍を制作しております。制作した全ての書籍が読者の元へ届き読んでいただければよいのですが、残念ながら最終的に廃棄せざるを得ない書籍が数多くあります。

しかしながら弊社の現場では、大量の資源を使い廃棄しているという意識が乏しく、環境への負荷軽減・環境保全への取り組みがまだまだ未熟なのが現状です。

実際、売れなかった大量の在庫本が廃棄されるところを見る機会もほとんどありません。環境問題にいち早く取り組み、「社会と環境に役立つ会社」を理念として経営を行っている富澤様とのパートナーシップを強固にすることにより、出版社としての環境問題への意識を高め、循環型社会の形成に日々取り組んでいければと考えています。

今後とも、企業と社会全体がよくなることを事業の柱とした富澤様の企業哲学を学びながら、利他の心を持って社会に貢献できる会社でありたいと思っています。

「品質第一」が世界基準に！

コロナの世界的な感染爆発から約2年経過しましたが、まだまだ収束が見えない状況です。その中で弊社には平素より安定的且つ品質の良い古紙を納入していただき心より感謝申し上げます。

中国の古紙輸入中止、コロナによる生活様式の変化、そして環境意識の高まり等々古紙を取り巻く環境が大きく変わり始めています。今こそ、従来から継続されてこられた富澤様の「品質」への真剣な取り組みが重要視される世の中になるはずだと。

御社の益々のご発展を祈念申し上げるとともに、これからも富澤様と「心」の通ったお付き合いをさせていただきたくお願い申し上げます。

日本製紙株式会社

原材料本部長代理兼
古紙調達部長

和田 健太郎

第一倉庫冷蔵株式会社

冷蔵倉庫事業部 統括部長
埼玉支部 岩槻営業所 所長

池田 佳健

循環型社会の形成に貢献しておられます。

株式会社富澤様におかれましては長年に亘り段ボール及び機密書類などの古紙のお取引をさせていただいております。機密書類については情報セキュリティマネジメントシステムに基づいての処理に依って依頼しております。

近年、リサイクル意識が高まる中、廃棄物の資源化、省エネルギー化、ゼロ・エミッション化に積極的に取り組み循環型社会の形成に貢献しておられます。

今後地域貢献活動と共に資源再生と廃棄物の削減を図っていただき更にはマテリアル化により脱炭素で地球温暖化防止を行い地球環境に貢献していただける様、さらなるご発展を祈念申し上げます。

弊社職員の環境問題への意識の醸成に役立っています。

株式会社富澤さまにおかれましては、弊社営業オフィスの紙類の廃棄物処理を通じて4年ほどお取引をさせていただいております。また、貴社が推進されている「グリーンサポート運動」にも去年より参加させていただき、弊社職員の環境問題への意識の醸成に役立っていること感謝申し上げます。環境問題や地域貢献活動への取り組み姿勢が強く意識される以前より貴社はいち早く様々な社会貢献活動を行い、SDGsの定める各種目標達成に向けて尽力されていると伺っています。私ども浦和支社においても、埼玉県 SDGs パートナー・健康経営実践事業所に認定をいただき埼玉県と連携しながら様々な地域貢献活動を推進しておりますが、貴社の革新的な姿勢に私どもも多くを学ばせていただいております。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症による被害を乗り越えながら、今後も環境配慮はもちろん地域社会に貢献する企業さまとして益々のご発展を心より祈念申し上げます。

第一生命保険株式会社
浦和支社

支社長
田邊 新悟

グリーンサポート運動は、資源回収を通じて社会と繋がる貴重な体験です。

グリーンサポート運動へは2018年頃よりご縁があり参加させて頂いております。

日頃クリーニング業務をメインに、決まった場所で決まった作業をしていましたが、古紙回収では車に乗り川口市とさいたま市の郵便局や学校、福祉事業所などの回収をさせて頂いています。

2020年秋からはグリーンサポートお手伝いバージョンが始まり、月に2回程回収のお手伝いをしています。通常のグリーンサポート運動では参加できない車いすの利用者様もお手伝いバージョンでは参加することができ、回収先である芝園団地の住人の方からは、「いつもありがとね。」と言葉をかけていただき回収の励みになっています。

施設外の方々と接する機会を与えてくださるグリーンサポート運動は、資源回収を通じて社会と繋がる貴重な体験です。これからもグリーンサポート運動に参加し、資源リサイクルに協力させていただき、地域の皆様に寄り添う活動をしたと思います。

社会福祉法人
埼玉県身体障害者福祉協会
埼玉県障がい者共同作業所

サービス管理責任者
内田 歩

「グリーンサポート運動」に参加しています

弊社では、川口市の「NPO法人グリーンサポート運動推進協議会」に協賛し、エコ活動に協力しています。

グリーンサポート運動とは

学校や企業などで「使い終わった紙」を寄付する運動です。障害者施設の利用者さん達が集めて「リサイクルする」という仕事が生まれます。

紙なら何でもOKです。ただ、飲み物や食べ物などで汚れた紙や使い終わったティッシュなどはリサイクルできません。古紙をきちんと集めればリサイクル資源として販売できます。そしてその売り上げは障がい者皆さんの工賃となります。

新聞や段ボールなどもありがたいのですが、いつもはゴミ箱に捨てられてしまう紙(例えばシュレッダーのクズや空き箱など)を捨てないで取っておくと資源になります。一般的に「燃やすごみ」として捨てられているものの約半分は紙類と言われています。資源リサイクルをとおして少しでも減らしていければと考えています。

「グリーンサポート運動」の参加企業等は400以上になりました。

(郵便局、小学校、薬局、信用金庫、幼稚園、事務所、工場など)

回収の中継拠点として八幡木倉庫を新設しました

川口市八幡木に古紙一時保管倉庫を新設し、より安全に効率よく回収作業ができるようになりました。



回収作業参加福祉施設（川口市内の小中学校・高齢者施設から古紙回収風景）



① みんな(安行慈林)
② 友垣の里(上青木西)
③ らいぶ(西新井宿)
④ ワークステーション西川口
⑤ 就労継続支援きじばと(里)
⑥ ほっとすてーしょん(八幡木)

⑦ このまんま(柳根)
⑧ リズム(前川)
⑨ 久美愛園(さいたま市緑区)
⑩ 埼玉県障がい者共同作業所(さいたま市南区)
⑪ たいむ(柳崎)

⑫ 茶色いお家(さいたま市緑区)
⑬ (株)ハマウラ福祉工場(さいたま市南区)

グリーンサポート運動 オフィスの書類かたづけサービス開始!!

グリーンサポート運動として新たに企業様からの書類を集めるサービスをスタートしました。障がい者福祉施設の利用者さんたちが定期回収に伺います。社会貢献運動にご協力お願いします。



<http://www.tomisawa.co.jp/>

〔本 社〕 〒 332-0011 埼玉県川口市元郷 3-21-31-2F
TEL.048-227-3098 FAX.048-226-2044
〔事業所〕 彩京 三芳 厚木 草加 蓮田 所沢 川崎